

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業点検・評価調書

5- -2

5-  
-2

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	ネガティブイメージの払拭
	. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立			
事業(施策)名	2 正確な史実の普及		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～H34	関連団体	県文化行政課、佐渡市企画課、佐渡市地域振興課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	【事業目的】 無宿人と罪人が混同されるなど、誤認されている史実や鉱山独特のネガティブイメージの払拭に向けて、正確な史実の普及を図る。			
	【事業内容】 各種情報媒体による積極的な情報発信の他、旅行・交通事業者、観光・世界遺産ガイド等の講習会等において正確な史実の普及を図る。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 出前授業、出張説明、佐渡市主催ガイド研修において、史実に忠実な説明を実施する。			
	【29年度実績】 出前授業、出張説明、佐渡市主催ガイド研修において、史実に忠実な説明を実施した。			
課題・今後の取組	【課題】 出前授業、出張説明、ガイド研修受講者以外への普及が必要である。			
	【今後の取組】 各出版物及び県内外での講演会において、正しい史実の普及に努める。			
事業評価	【事業の達成度】 { a (b) · c } 計画どおり、目標を達成できたことからBとした。			
	【事業実施の効果】 { a · (b) · c }			
	【総合評価】 { A · (B) · C }			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。